

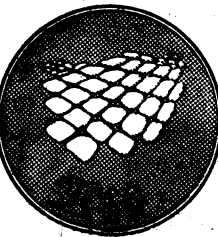
雲鏡子への便り 私はA基地における一プロッターです。養成所末期の卒業生です。例の機構改革で一応気象台に見限りをつけて出たのですが、やはり外の不景気の風に吹き寄せられて昔とったキネヅカでこのA基地の気象員としてまた舞いもどってきました。適令期なのですが基地要員はいつ首になるかわからぬというので女性に警戒されています。いや本当は基地拡張に反抗する土地の人が私達要員を白い目で見ています。でも仕方がないじゃないですか、ジェット機が発着するようになれば扱げなければならないでしょう。たとえそのジェット機が軍用機であっても私達だって決してこんな所で働いているのは楽しくありません。つい昨年までゲートの出入にはベントウ箱まで開かれて身体検査を受けていたのです。アメリカ国歌のなりひびくこの基地をアメリカ人は(Our land)といっています。吉田さんがワシントンで例のトイレットペーパーを読みあげてこうなることを約束してしまっただけですから本当に困ったわけです。私達はそのシリヌグイをする運命の星の下に産れたと思っただけであきらめなきやならないわけですがね。

いまファクシミルの特有な臭がこのペンキをぬりたてた天気図室にただよってきました。ボスが入って来る時間です。手紙などを書いていると“お前は duty をやっていない”とハッパをかけられます。雲鏡子さん、この日本の曇りはいつ晴れるんですかね。はやく日本晴れの天気来ないですかね。こんな臭いことばかり書いて申し訳ありません。(A基地プロッターより)

“天気”が機関紙になるに当って 天気も来年からは学会の機関紙として発足することになった。

発刊以来2ケ年にわたって献身的な努力をされた編集者は勿論、原稿を多く送って下さった方々に感謝するとともに、ここで2年間をふりかえて天気のある方について、もう一度反省してみることは有益であり、又新しい編集者に対しても参考にしていただけたと思う。

新しく、機関紙としての内容が加わることを除けば主として2つの面が重要であろう。第1は、地方の測候所や、気象に関心を持った人々の研究、調査(それは完全な論文という形でなくとも、問題提起であっても重要である)民生協力の実態、風土記といったものがコンパクトな形で数多く掲載されること。第2は直接研究調査をしている研究者からの国際的な、あるいは国内的仕事を親切に紹介した論文、それによって、気象学全般の動きがつかめるようにすること、を希望したい。最近の天気を見て未だ不十分な点があるにもかかわらず次第に、これら2つの面がバランスするようになったことは喜ばしい。今後益々多くの読者にとって親しめる有益な雑誌に発展することを心から願っている。



(αQ)

討論 講演会はいうまでもなく発表の場であると同時に討論の場でもある。研究や調査の内容結果を発表してディスカッションを経てはじめて論文の体をなすといえるであろう。したがって講演会ではオリジナルな発表を重視すると同じ程度に、討論に重点をおかなければならない。討論も含めて講演時間が5分とか7分というような大学会に比べて気象学会はまだまだ恵まれている。

講演を聞いていると、いろいろなタイプがあっておもしろい。研究の内容にも、発表態度にも個性がにじみ出てくる。一気かせいに飛ばす型、ゆるい説明する型、大見えを切る型、黒板に向ったきりで終る型、まじめ型、こっけい型等々いくらかもある。持ち前の個性はどうにもならないだろうが、時間を決めて講演するには一応心得なければならぬ点がいくつかある。

(1) 時間内に要領よく話すること。(2) 研究経過の途中で問題になったところにアクセントをつけること。(3) 討論を引き出すようにしむけること。そのためには特に討論を希望する問題を強調すること。(4) いたずらな緊張を避けるためには上品なユーモアも交えること。(5) 討論は手ぎわよく活発に行うこと。(6) 討論の場を乱さないこと。

などであろう。討論もなかなかむづかしいものである。

(イ、キ)

いなか者 A “しばらくぶりに上京されて、学会講演会の感想などどうですか”

B “さすがに東京は盛ですね。講演の数も多いし、種類も多いし、討論も活発ですね。これなら我国の学会も頼もしいものだと感じました”

A “ほめるばかりでなく、少し欠点も突いて下さい。東京には気のつかないことが、地方の方から見るとよくわかることもあるでしょう”

B “そういわれれば、言いたいこともありますね”

A “——”

B “あせりが目につきますよ。いなか者はのんびりしててでしょう。論文の数など問題にしないですね。現象に取っ組んだら、ゆっくりかまえて、とことんまでしらべ上げる。最後のぎりぎりまで研究して、もうこれ以上手のうちようがないところまで行って、はじめて論文の体をまとめようとかかるようになりますね。東京じゃそうはしておれないのでしょうか。とにかくまとめなくては、数をものしなくてはというところがあるようですね。卒直に言わせてもらえばね、東京にもいなか者がもついてももらいたいね”

A “さすがにおもしろい意見だね”

(い)

“天気” 2・11